

2009年5月12日 北日本新聞 掲載

富山高専「共同教育」記事

熱心に授業に聞き入る生徒たち



ものづくりに関心を

富山高専 現場技術者から学ぶ

ものづくりの現場で活躍する技術者たちに学ぶ授業「ロボット工学基礎および機械技術演習」が十一日、富山高専（富山市本郷町、米田政明校長）で開かれた。

県内外の企業の製造現場の技術者と同校教員が、共同で即戦力となる人材の育成を図る「共同教育」の一環として行った。

この日は共同教育のコーディネーターを務める三田商会（同市問屋町、黒田昭社長）と取引する県内外のメーカー、六社の技術者が講師となり、「歯車」や「電動アクチュエータ」などをテーマに授業を

行い、機械工学科五年生四十二人が熱心に耳を傾けた。黒田社長は「技術者たちの生の声を聞いて、ものづくりに関心を持ってほしい」と話した。